



YOU ARE THE NEW MILLENNIUM

第四十三期生 洛星を巣立つ

二月十日、本校大講堂において、第四十三期生の卒業式が行われた。保護者、教職員、在校生が見守るなか、終始荘厳な雰囲気で行われた。

卒業証書の授与では、担任の先生から名前を呼ばれた卒業生一人一人が元氣よく返事をし、壇上上がったラバディ校長から卒業証書を受け取る、校長とが手と手を交わす場面には、喜びのあまりラバディ校長に抱きつき涙にキスをする卒業生も見られた。続いて皆勤賞などの表彰が行われた。

また、在校生代表の前期生徒会長の吉田昌泰君の送辞、卒業生総代の前田振一郎君の言葉があった。



校長のことば

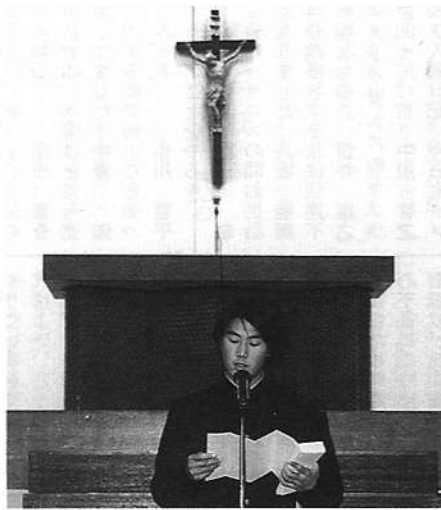
四十三期生の皆さん、卒業おめでとうございます。洛星の学校生活を振り返り、皆さん一人一人の努力は勿論ですが、周囲により理解者がいなくなった結果としてここまで頑張ることが出来たのでしょうか。今日この日を迎えることができたのも

発行
洛星新聞局
☎ (463) 3281(代)
印刷/旬片桐軽印刷

と一緒に洛星を卒業するのです。共に勉強し、クラブ活動に取り組み、一緒に過ごした思い出を私達は忘れません。この気持ちをずっと大切に心に留め、新しい道を歩んでいきます。どうか天国から私達を見守っていて下さい。

さて、今日の卒業式に当たり、私は皆さんにつきの言葉を贈ります。その言葉とは YOU ARE THE NEW MILLENNIUM つまり君たちは新しいミレニアムだということです。

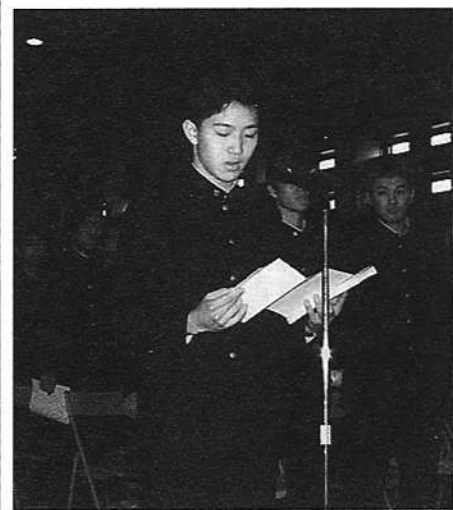
これからの新しい時代は君たちのものです。君たちは今、高等学校を卒業しそして大学へ進学し、新しい education になります。君たちこそこの新しいミレニアムを担っていくのですから、よいスタートを切っていたいだきたいです。現在の世界を見てこれからはどうなっていくかを考えながら、今日一つの区切り目として、積極的に行動して欲しい、というのが私の願いです。日本は戦後半世紀以上がたち、住みやすい国になりました。誇りを持って言えると思います。二度と原子爆弾を使わないように世界の先頭に立つてアピールしてきたこともあると思います。これからも平和のために積極的に行動できるならばもっと素晴らしい力を国際社会において発揮できるに違いありません。



四十三期生の皆さん、卒業おめでとうございます。今日、この場で高校生活の門出を迎えられたことを、私達、在校生一同、心からお祝い申し上げます。この学園で学び、過ごした日々を胸に秘め、今、新たな一歩を踏み出されるお気持ちはいかなるものでしょうか。

この日を迎え、間近に控えた離別への緊張感もさることながら、三年間の学校生活を懐かしく思い返されていることと思います。私達も先輩方との学校生活を振り返ってみて、色々なこととお世話になり、学ばせていただきました。ク

新しい千年紀の幕開けとともに、私達四十三期生は、今日、卒業の日を迎えました。期待や不安、緊張、そして感動の連続であった洛星での日々もついに今日で幕を閉じ、私達は、まさか、新しい航海へ旅立とうとしています。振り返ってみれば、高校生という多感な時期を洛星という空間に包まれていた私達は、とても幸せであったと感じます。私達は、日々迷い、とまどい、揺れ動きながらも洛星での毎日の中で、徐々に自己を見つめ、社会を見つめる姿勢を学んでゆきました。



ラフ活動をはじめ、文化祭、体育祭、クリスマススタローなどの学校行事、様々な場面で見学方とともに活動し、その度に確かな判断と落ち着いた態度、そして豊富な経験を私達に示して下さいました。失敗を恐れず、創意工夫をしながら、一つのものを仕上げようとするひたむきな姿勢は、私達下級生にとっても頼りがいのある存在でした。先輩方は共に勉学に励み、部活動で汗を流す仲間であり、最も年の近い先生であつたと思います。

この日を迎え、間近に控えた離別への緊張感もさることながら、三年間の学校生活を懐かしく思い返されていることと思います。私達も先輩方との学校生活を振り返ってみて、色々なこととお世話になり、学ばせていただきました。ク

在校生のことば

さて、今年は、二千年という歴史的にも大きな節目の年で、二十世紀最後の

卒業生のことば

私は社会科の授業の一環として見る機会を得た「映像の世紀」というビデオに思い至ります。二十世紀を扱うその映像の中で、私は想像を絶する戦争の惨状に圧倒され、強く衝撃を受けました。二十世紀が戦争の世紀であったことを、つくづく感じました。平和な今を生きている私達にとって、あのような映像から逃げずに受けとめることが最も大切なことではないかと感じます。やがて和と田章弘君の分まで立派に生きて見せよう」と決

ます。そしてそこには、卒業後もタブラローを手伝いに来て下さる先輩方の姿に象徴されるように、洛星ファミリーとしての強い絆がありました。

タブラローの他にも、文化祭や体育祭、宗教研究やボランティア活動、それにそれらがちこんだクラブ活動など、洛星での毎日は

ものにもなりうるのです。その影響は地球環境にまで及び、もはや人間のみで成り立ってはいません。グローバル化という言葉が唱えられ、通信交通手段の発達により、世界規模で手を取り合い解決してゆく時代がやってきました。これからの社会では独善的な考え方にたもたれるのではなく、広い視野で物事を判断する人間というものが、求められるでしょう。

現在、不況という暗闇から抜け出せずにいる日本ですが、冬が雪の下で春に新しい芽を出すエネルギーを蓄える時期であるように日本経済にも光がさす時がめぐってくるはずだと、その光を待ち望んでいるだけでなく、私達青少年が中心となって導き出してゆ

せすに、自ら学ぶ意欲を放ち、未知なるものに果敢に挑戦しようと思つて。洛星で得た幅広い視野と経験、そして卒業後も洛星ファミリーの一員であり続けるこの強い絆を誇りに激動の社会へ力強い一歩を踏み出します。

最後になりましたが、私達のこの三年間の歩みは、常に校長先生をはじめとした先生方、学園関係の皆様、そして家族など、本当に多くの方々を支えられたものでした。そして今日、この卒業も、その支えの上に成り立つ一つの結晶であると思ふます。そうして私達の周りの方々に心から感謝の気持ちを表して、卒業生のことばと致します。本当にありがとうございました。



平成十二年二月十日
洛星高等学校
第四十三期卒業生
総代 前田振一郎

A 組

人間万事塞翁が馬。それで
はまたどこかで上田 知生
遊べない時でも遊ぶ！これ
がオレの鉄則。辻村 英介
3年間はとて早かったで
す。和田 樹
なんでそんなにいいの
かよ。八木 宏幸
Say a Little
Prayer 山本 省平
負けるな関ポン
山崎 敬之
けつこう がんばりました
山崎 雅成
あと2ヵ月もすれば又入学
だ。山澤 和正
後悔：
横山 真也
時を翔ける男になるんだ！
深田 啓志
一日一日大切に。
橋本阿瑠美
6年なんて案外短いもんだ。
秦 圭佑



いや別に特になんてい
ホノマ。 広瀬 純
洛星に入って人間が大き
なった気がする井尻 亮
努力あるのみ
稲田 克年
今思えば、洛星って結構え
えとこですね 井下 亮一
ながいあいだごろうさま
でした。 石野 雄一
振り返る余裕もありません
でした。 金濱 真吾
先生方には迷惑をおかけし
ました。 伊藤 潤
フランス語の授業を復活さ
せろ!! 片山 復行
これからはギャロップで駆
けぬけたい。 川辺 晋矢

ありがとうございます。
あと一ヵ月ラストスパ
なまぬるかった。
松田 秀史
今ここに自分の信じて
いた。 松村 一樹
どんな事でも笑いになると
は思いません。 森田 次朗
ゴマちゃんと呼んでね
マイベイス ああマイベ
卒業できるだけで御の字で
す。 大山 佳範
ベータマックスはなくなり
ません! 青田 啓史
逃げるが勝ち。
荒尾 亮介
今までお世話になりました
あなたに逢えてよかった。
折橋 祥
伝説の校歌の2番。歌う機
会がなかった。 佐藤晋治郎
克己! 卓月 宏彰
勉強だけでは三年間を
送れた。 澤田 健太
私はボンではない。
一年中、ねむかった。 大輔
何もうることはありませ
川辺 晋矢
川辺 晋矢
川辺 晋矢

B 組

皆さん、僕の後を継いで謡
曲部に入ろう。 花田 真一
ベスト16が遠かった。
あーオムライスが食べた
い。 木田 圭亮
そこに山があるから……
6年間一生懸命すごした
もです。 長沢 駿介
勸善懲惡
全部は今、ここから始まる
!! 新谷 穰
あつという間の三年でした
谷口 勇介



ロン!! 緑一色!!
上田 隆文
菅野ようこ最高!!
横田 研人

C 組

一振りに全てを! 全てを懸
ける! 諸 勝文
バス停では歩道にならびま
しょうね。 朴 煥世
十二年間キリスト教に染め
られました。 佐賀 寛厚
掃除を毎日欠かさずやり
ました。 寺尾 博行
卒業パンザイ
山口 太一



すように。
僕らがでっかい病院につれ
たら…… 妹尾恵太郎
みなさん是非とも当病院へ。
なれば成らぬ、何事も!
強者は勝者にあらず、勝者
は強者なり。 飯田 章人
自己開放。訳して、セッ
・ミー・フリー竹川 哲史
悲しいかな、人の時間は有
限です。大切に中村 祐己
奇跡、起こそうぜ!!
佐藤 元則

D 組

八個赤点の王卒業。奇跡
に頼るな! 起せ木下 稔雄
宮崎ってほんまにいい穴や
わ! 別府 幹也
やっと卒業いたします
山下 岳志
さらば、京都
山田 健人
終わりはまた始まりでもあ
る。 栗山 明
師匠キセキの卒業おめでと
う! 桑原 遼
あとは大学入試だけ。
迷わず進めよ!! 東口 将佳

によかった。 竹内 洋輝
FEEL THE FUT
URE 白江 俊毅
学問に邪道あり
夢かなえてまた進み夢見
つけて追えば! 京本 裕介
「ハイ、タマキしばき」
高坂 仁士
ありがとう
岡村 和宏
おもしろい、思い出深い3
年間でした。 原 昇司
お前らみんな女子校へ行け
! 久我 研作
充実した高校生活だった。
中村博太郎
さらば青春の光
宮崎 有
逆境にあつてもケ・セラ・
セラ! 神山 長慶
宮崎君はおもしろすぎる。
六ヶ年皆勤ならず!!
上田 智朗
信じる者は救われる。私は
信じてます。 荒木 保博
あともう少しで……
小泉 崇
人生日々これダイエツとな
りけり 西角 元一

宮崎、ありがとう……
宮崎は、もうだした……
6年は一瞬だった……
驚尾 健
楽しくすごせた。
三光寺由之
松本君にふりまわされた三
年間でした。 山崎 大輔
京大工学部の人はセンA国
語死につらん@岩本 晃幸
ひとこと書くようなことが
無い…… 福井 一馬
オレの人生消化不良。
藤村 修平
言論の自由を大切にしとけ
! 塩田 明弘
いま振り返ると、楽しい6
年間だった。 尾崎 修平
ぶらぶら ぶらぶら……
宮崎君の未来に乾杯!
竹口 徹
98も夢のまた夢……
西田 圭佑
宮崎既にして枯渇す。
川崎 律也
NEVER GIVE
UP! 太田 健
あつという間に卒業がやつ

てきたワウ 樹田 一哲
やることをやれば楽しめる
もんだ。 伊藤 大輔
オレ以上に楽なやつが多か
った。 後藤 幸夫

都市の空気は自由にする。
奥田 直樹
天は人の上に人をすくらざ
る。 林 真也
長そうであつという間の
六年間 南川 憲吾
洛星での六年間とはとても充
実でした。 中澤 崇
努力する姿が何よりも光っ
てみえる。 小川 哲平
やりたいことをやろう。
藤田 彰
三分の一サロスの間お世話
になりました。 八坂 能郎
自分の限界! それは到達不
可能なもの。 新井 康之
ノストラダムスのウソツ
き…… 中川 智之
3年E組7番 人見 琢也

ダメでした。 友野 寛之
一に睡眠二に野球三四がな
くて五に勉強。 森迫 拓貴
明日は明日の風が吹く
中岡 秀憲
やりたい事をやる時にや
ればよい。 高井 浩志
受験何とかなりそうにねえ
や(吐血)。 居相 秀信
六年間長いようであつとい
う間だった。 中村 有克
どうでもいい事ばかりのハ
ッピーDAVS西川 浩平
6年間大変お世話になりま
した。 西田 陽一
6年間長い様で短かった。
細尾 直久
未来のためにある現在を
心不乱に。 土井 威志
継続はパワーなり。 byギ

世の中にたえて入試のなか
りせば春の心: 津田 卓郎
森羅万象、百鬼夜行。
奥村 大樹
探し、求め、たたき続けま
す。 本井 修平
一寸先は闇
芝 定典

ある時は楽観的に、ある時
は神経質に 林 剛介
試験中に音楽が聞こえてく
るのは何故? 瀬川 裕佳
人は一生孤独だが、孤独は
分かちあえる。 熊谷 直樹
衣笠井はダメ、カツ煮はオ
ツケー 谷口 智彦
ユイがキャンできるならド
ウしやいなっ岩佐 一毅
寧ろ鶏口、無為牛後。
堀田 祐平
僕はカニじゃないんです。
西村 祐司
自分のプレーをするだけで
す。 田中 亮
悔いのない3年間だった
河村 隆広
いろんな意味でいい三年間
を過ごせた。 松下 登
夢は馬王。
小島 健史
It there's a will, there
is a way! 日下部治郎
灘には、負けへんで。
前田 卓也
「あつ」という3年間
だったなあ 前川 曉紀
明日も勝つという言葉にダ
マされるな!! 松田 洋明
何とかなるさ。ぶつかる迄
突っ走れ。 湊 大助
明るくいこう。 村瀬 透
残った物は遊びのツケと格
ゲムの技。 中村 陽一
つり同好会はまかせたぞ!!
初代会長より 西田 知史
このクラスは、とてもよか
った。 西村 貴至

大人になれたと思っていま
す。 黒澤健太郎
79点。自分なりにがんばっ
た。 山田 尚史
半夜電話!! 玉那覇消失?
快楽期待再見!! 松井 正史
音楽がいよいよ貴方の味方
ありますように谷 英郎
卒業できてよかった。
原 悟
グラグラグラグラグラチ
ウエイ!! 石井 脩平
強者は勝者にあらず、勝者
は強者なり。 飯田 章人
自己開放。訳して、セッ
・ミー・フリー竹川 哲史
悲しいかな、人の時間は有
限です。大切に中村 祐己
奇跡、起こそうぜ!!
佐藤 元則

俺も、平成の怪物! になり
たかった。 原田 佑嗣
何が悲しいっておなかで
長くて短い6年間。
西野 悠久
六年間いろいろありました
白雪のJ・J。 河合 泰佑
負けたい様に笑って咲く花
になりた。 辻村 純平
操業して心底良かったです
皆、政経にダメさるるな!!
後藤 孝明
フウ…… 松村 文仁
…… 満足でし
たね。 山中 寛之
スマイリーニキータグル
プ加盟店募集 三谷 康二

雑草魂!! 岡嶋 亮
雀鬼、一直線。
えー……ブリッ
卒業おめでとございます
太田 宗樹
山岡先生はきつといい人な
んです。 多分: 斎藤 悠也

E 組

寝る子は育つと申します。
山田 良則
由緒正しき伝書蟹: あーま
つたりまつたり森尾 哲治
この6年間いつもギリギリ
だったなあ。 中村 崇
いい夢見させてもらいまし
た 3年E組7番 人見 琢也

てきたワウ 樹田 一哲
やることをやれば楽しめる
もんだ。 伊藤 大輔
オレ以上に楽なやつが多か
った。 後藤 幸夫

ダメでした。 友野 寛之
一に睡眠二に野球三四がな
くて五に勉強。 森迫 拓貴
明日は明日の風が吹く
中岡 秀憲
やりたい事をやる時にや
ればよい。 高井 浩志
受験何とかなりそうにねえ
や(吐血)。 居相 秀信
六年間長いようであつとい
う間だった。 中村 有克
どうでもいい事ばかりのハ
ッピーDAVS西川 浩平
6年間大変お世話になりま
した。 西田 陽一
6年間長い様で短かった。
細尾 直久
未来のためにある現在を
心不乱に。 土井 威志
継続はパワーなり。 byギ

世の中にたえて入試のなか
りせば春の心: 津田 卓郎
森羅万象、百鬼夜行。
奥村 大樹
探し、求め、たたき続けま
す。 本井 修平
一寸先は闇
芝 定典

ある時は楽観的に、ある時
は神経質に 林 剛介
試験中に音楽が聞こえてく
るのは何故? 瀬川 裕佳
人は一生孤独だが、孤独は
分かちあえる。 熊谷 直樹
衣笠井はダメ、カツ煮はオ
ツケー 谷口 智彦
ユイがキャンできるならド
ウしやいなっ岩佐 一毅
寧ろ鶏口、無為牛後。
堀田 祐平
僕はカニじゃないんです。
西村 祐司
自分のプレーをするだけで
す。 田中 亮
悔いのない3年間だった
河村 隆広
いろんな意味でいい三年間
を過ごせた。 松下 登
夢は馬王。
小島 健史
It there's a will, there
is a way! 日下部治郎
灘には、負けへんで。
前田 卓也
「あつ」という3年間
だったなあ 前川 曉紀
明日も勝つという言葉にダ
マされるな!! 松田 洋明
何とかなるさ。ぶつかる迄
突っ走れ。 湊 大助
明るくいこう。 村瀬 透
残った物は遊びのツケと格
ゲムの技。 中村 陽一
つり同好会はまかせたぞ!!
初代会長より 西田 知史
このクラスは、とてもよか
った。 西村 貴至

大人になれたと思っていま
す。 黒澤健太郎
79点。自分なりにがんばっ
た。 山田 尚史
半夜電話!! 玉那覇消失?
快楽期待再見!! 松井 正史
音楽がいよいよ貴方の味方
ありますように谷 英郎
卒業できてよかった。
原 悟
グラグラグラグラグラチ
ウエイ!! 石井 脩平
強者は勝者にあらず、勝者
は強者なり。 飯田 章人
自己開放。訳して、セッ
・ミー・フリー竹川 哲史
悲しいかな、人の時間は有
限です。大切に中村 祐己
奇跡、起こそうぜ!!
佐藤 元則

俺も、平成の怪物! になり
たかった。 原田 佑嗣
何が悲しいっておなかで
長くて短い6年間。
西野 悠久
六年間いろいろありました
白雪のJ・J。 河合 泰佑
負けたい様に笑って咲く花
になりた。 辻村 純平
操業して心底良かったです
皆、政経にダメさるるな!!
後藤 孝明
フウ…… 松村 文仁
…… 満足でし
たね。 山中 寛之
スマイリーニキータグル
プ加盟店募集 三谷 康二

雑草魂!! 岡嶋 亮
雀鬼、一直線。
えー……ブリッ
卒業おめでとございます
太田 宗樹
山岡先生はきつといい人な
んです。 多分: 斎藤 悠也

A組担任
西川 兼司

先日、柄にもなく一人でふらっと美術館を訪れた。「二度とない風景」というその写真展のタイトルに心ひかれたのだった。その時のことである。

チケットを手に入れて入り口に向かうと何人かの列ができていた。平日の夕刻だったので意外に思っていた。実は最初の写真の前で一人の老人が立ちふさが

るかにようにしてその写真に見入っていたのだった。後から来る人々も不思議な顔で立ち止まり、その写真を見つめていたのだった。

一〇〇点の作品はどれもすばらしいものばかりで、静かで、その瞬間瞬間にシャッターを切らなければ永遠に忘れ去られてしまふ、そんな日常の風景が実に印象的に一枚一枚に収められていて、写真については何もわかっていない私も、我を忘れてその世界を楽しんでいた。

一〇〇枚見終わった後、私はもう一度引き返してみる気になった。なぜかあの老人が何枚目まで進んでいたのか気がついたのだった。相当に時間がたっていたが、彼は自分よりも三倍は長く生きているだろうから、という単純な考えで三〇枚くらいではないかというのが私の一つの読みだった。果たして彼がいたのは三枚目の写真の前であつた。同じように張りつめた空間を作りながらかみしめるようにその写真と向き合っていた。私は「ものごとの美は、それをじっと見つめる人の心の中にある」という誰かの言葉を思い出しながら、妙にうらやましく、また納得した気分になっていた。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

化し、様々な点において急激な変化が進んでいます。先日久しぶりに実家に帰省したのですが、このときもそういつた変化、多様化について少し考えさせられました。私の実家は田舎の港町にありまして。自分が育った街を散策してみると懐かしい風景が目につきます。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

張つても文句は言われず、むしろ尊敬をあつめてしまふのです。また、たとえ一番になれなくても頑張っているところを見れば皆に存在が認められる、という面もあるのだ。遊びとはなにか必死で。ただ不思議なのはあまり格好がよいとはいへません。勉強ができるのを自慢するのは御法度で、これを守らないと確実にのけ者にされてしまいます。面白いことに勉強が得意な場合、これを鼻にかけず謙虚でいると、逆に皆に尊敬されるのでした。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

いて、諸君が人を大切にしようとする心、感謝の気持ちを失わない、度量の大きい人に成長してくれることを願つてやみません。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

であつたとは言えないけれど、それはやっぱり僕の子供が泣き虫であつた時期があるのと同様なのではないだろうか。人は自分の世界が広がっていくとき、言い知れぬ不安に襲われるのではないだろうか。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

いろいろな友達とつき合い、学問にも触れ、社会の一員にもなっていくなかで、いろいろな価値観に出会っていくことなのでしょう。その時にこそ、君達の良さを発揮して欲しいと欲しく思います。他人の言うことをよく聞き、自分の頭で理解し、自分の価値観というものをしっかりと築いていくことが大切だと思います。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

して、何年後かに、成長した君達がまた顔を見せてくれるのを楽しみにしています。最後に一言、「何事もやればできます。」頑張ってください。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

は、すでに過去の思い出となつていくことでしょう。洛星高校で共に学んだ四十三期生どうしは、一生何かの共通項を持ったものとして深くつき合つていくことが出来る仲間です。将来どこかで出会うことは間違いありません。助け合ふというのはいささか何かに為になることをしてくれたいという気持ちもあるでしょうが、精神面で支え合ふというところが大きいのではないかと思います。高校時代につき合いがなくても卒業後、我々もいろいろな問題を抱えながら生きていくことになるし、予想できないような所で出会うこともあつていいでしょう。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

門家でも予測ははずすという例は多くあります。正確に将来を予測することも大切なことであるけれど、変化に素早く対応し順応していかなければならないし、そういう柔軟性を持ち続けなければならぬと言えま

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう

な感じ方ができるかはその人それぞれの精神のありようによって出会うものの価値はどのようにも変わるのだと思うのです。

感じる力というのは、実は働きかける力なのだといふ気がします。同じものを見、同じ音を聞き、同じ言葉に出会ったときにどのよう



激戦!! 中高入試実施

今年度の洛星中学校の入試試験は、昨年度と同じ一月二十九日と三十日に実施された。また、高等学校の入試試験は、二月四日と五日に行われた。

中学の志願者数は他校との日程の兼ね合いから大幅に増え、千人を超えた。実際の受験者数は、昨年より八十人ほど多い六百六十五人だった。合格者は二百六十四人で、競争率は約二・五倍だった。

中学の合格発表は、一月三十一日午後五時から行われた。三枚に分かれた合格発表の掲示板が一枚ずつ出されるたびに、ドツという歓声が湧き上がった。嬉しそうに掲示板を見上げる受験生がみられたが、一方、競争率は約一・二五倍であった。合格発表は二月六日に行われた。



高校生がみられたが、一方、競争率は約一・二五倍であった。合格発表は二月六日に行われた。

徳安先生御長男誕生

昨年暮れに社会科の徳安浩明先生の三人目のお子さんが(御長男)が誕生されました。生まれたときの様子などについてお尋ねしました。

「生まれたのはいつですか。去年の十二月二十六日です。」

「いよいよ生まれそうですという時はどんなお気持ですか。」

「三人目だからねえ、無事にいけばいいな、ぐうい。雪の降る中を、上の小さい子二人を夜中の一時くらいに親戚に預けにいったね。生まれたのは朝の五時頃。」

「生まれたときの体重は。」

「3462gかな。大きいほうだな。」

「お子さんのお名前と由来をお聞かせください。」

「邦洋。ソビエト連邦の『邦』に太平洋の『洋』です。」

「実はい、ずっと生まれる前から三人目も女の子に言われて、女の子の名前も決めていた。」



「来年の高校入試は、1月にHIBの早川真人君が生徒会長に、HIEの石川孝仁君が副会長に、HIAの竹内優介君が書記長に、それぞれ立候補し、信任投票の結果、当選した。また、後期予算案は二月二十九日に生徒総会の全会一致で可決された。」

「生徒会報」

「後期の高校生徒会報は、1月にHIBの早川真人君が生徒会長に、HIEの石川孝仁君が副会長に、HIAの竹内優介君が書記長に、それぞれ立候補し、信任投票の結果、当選した。また、後期予算案は二月二十九日に生徒総会の全会一致で可決された。」

「御退職」

「今年度をもって、田中神明先生、理科の熊谷春雄先生、同じく理科の橋本真弓先生が洛星を去られることになりました。長年洛星を支えてこられた先生がご退職なさるのは誠に残念なことではあります。先生方のさらなる活躍をお祈りしたいと思います。」

「卓球は別に：ウー：やらせたいとは思わないねえ。好きなことをさせてあげたいねえ。」

「つりはどうですか。」

「おじいちゃんに連れていくって今から楽しみにしているんでねえ。だからやると思います。」

「どうもありがとうございます。」

クロスワードパズル

「タテのカギ」

- 1・髪をすくもの。
- 2・その場の状況に對して適切な処置をとること。
- 3・スコットランド産のウイスキーをこう呼びます。
- 4・形がネズミに似ていることから…

生徒会報

後期の高校生徒会報は、1月にHIBの早川真人君が生徒会長に、HIEの石川孝仁君が副会長に、HIAの竹内優介君が書記長に、それぞれ立候補し、信任投票の結果、当選した。また、後期予算案は二月二十九日に生徒総会の全会一致で可決された。

御退職

今年度をもって、田中神明先生、理科の熊谷春雄先生、同じく理科の橋本真弓先生が洛星を去られることになりました。長年洛星を支えてこられた先生がご退職なさるのは誠に残念なことではあります。先生方のさらなる活躍をお祈りしたいと思います。

- 5・「統」の訓読み「○○る」
- 6・略してブタカン
- 7・ビッグ・ベンがあるとこ。
- 8・牝牛を英語で。
- 9・海水浴の必需品?
- 10・哀楽
- 11・機にいたる甲虫類で、巻きの殻に入っている。
- 12・褐色の丈夫な紙で、封筒、包装紙などに使う紙。
- 13・海狸または狸虎と書く
- 14・百の次。万の前。
- 15・洛星新聞局の優秀な局員。編集長の片腕。〇〇キミヒロ君
- 16・木に穴をあける道具。

- 17・洛星の十二月二十四日といえはこれ。
- 18・西明石より一つ東の新幹線の駅。
- 19・牛などの舌の肉
- 20・くちづけ
- 21・月光板面にでてる悪人の名前。
- 22・がっかりすること。落胆。
- 23・農業の仕事が暇な時期のこと。
- 24・「する」を英語で。
- 25・鯨の読み方。
- 26・床があって四方に壁があつて天井があつて出入りのための戸があるところ。

- 27・完全に会得して自分の身に付けること。
- 28・ピッカピカの一年生は〇〇〇〇もピッカピカ。
- 29・一〇〇〇、十の〇〇〇、百の〇〇〇、…
- 30・昔は雪国ではこれがないと歩けなかった。
- 31・何気なく。はずみで。ちよつとしたことを突然に。(副詞)
- 32・大規模〇〇店舗立地法(一九九八年制定)
- 33・Let's Be Thankful.

編集後記

☆この編集後記を読んで、あなたは、一面から読んでいてここにたどりついたのか、それとも最初これを読んで、そののち、いずれにせよ、全部を見てからあなたは、記事はともかく、あまり面白くない新聞だと思ふだろうか。構成も単純、記事数も少なく、論説もない。はつきり言って不本意な新聞になつてしまつた。この原因は何だろうか。局員も客員もよくやつてくれたが、どうにも人手が足りない。というところは、発想が足りない。

未熟な私一人でやろうとするので、どうしても発想が貧困になつてしまふのだ。来年は私が局長になるのだから。新聞局(というより私)は、優秀で独創的で従順な頭脳を必要としている。「自分のさばりを棚上げしよう」としている。

「老兵は死なず、ただ消えるのみ」

今回この洛星新聞局の原稿を依頼され、原稿用紙四枚程度に記事を綴つてみたのですが、編集長Yから山ほどの校正が入りました。それはまるでZ会(匿名不可)の朱筆添削のようでした。文章を書くに難しですね。最後に私が新聞局へ希望すること、局室内の発酵寸前のあの大量ゴミを早急に処分せよ。

「最近地理部との交流が多くなったHIE生」

☆プロ野球の季節がやってきた。今年の注目すべき球団は巨人、それしかない。ハッキリ言って今年には優勝だ。ホームラン数は、松井五十本高橋・清原四〇本マルティネス三〇本。そして三十二勝三敗(たぶん優勝しない)「GOODVAMHHTYKYNHUF」

ZEN-GUY男のへそを上手に治す。

MK-心の清らかなざりざりの始まり。

TM-集団の上に立つ癡り性の反語の係助詞。

TT-仏を激しく植えて耕す男

ME-平安京のはるか遠くに長く生える役人。

「？」

スタッフ

局長 HHD市川 武志

編集長 HIE山崎 紀之

局員 HIF伊藤 仁博

客員 HIA松田真太郎

HIB杉本 和也

顧問 藤田行男先生

萩野一茂先生